

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0331

(注)本稿は 2014 年 11 月 23 日から 12 月 4 日まで 6 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.12.8
前田 高行

日本を上回る UAE—MENA(中東・北アフリカ)の「ビジネス環境」(2015年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その13)

目次	頁
1. 「Economy Rankings – Doing Business」について	2
2. 昨年より大幅にダウンしたサウジアラビア	2
3. 評価項目毎のランク	3
4. MENA7カ国及び日米韓の項目別比較(レーダーチャート)	5
5. 2011～2015年の順位の推移	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第13回のランキングは、World Bank(世界銀行)のグループ Doing Business がおこなったビジネス

ス環境に関する世界各国のランキング(Economy Rankings)2015年版について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* Doing Business のホームページ: <http://www.doingbusiness.org/>

1. 「Economy Rankings – Doing Business」について

「Economy Rankings – Doing Business 2015」は、世界189の国あるいは地域のビジネス環境をランク付けしたものであり、当該国・地域でビジネス活動を行う場合の難易度を知る目安になる。判定は以下の10項目について順位付けを行い、それら10項目の順位の加重平均によって総合順位(Ease of Doing Business)が決められている。

- (1) Starting a Business (起業)
- (2) Dealing with Construction Permits(建設許可)
- (3) Getting Electricity (電力事情)
- (4) Registering Property(登記)
- (5) Getting Credit(信用取得)
- (6) Protecting Investors(投資家保護)
- (7) Paying Taxes(徴税)
- (8) Trading Across Borders(通関)
- (9) Enforcing Contracts(契約強制力)
- (10) Resolving Insolvency(清算)

ランク付けの対象となった国・地域の数は189であるが、そのうち MENA は19カ国及びパレスチナ自治政府の20であり全ての対象国がランク付けされている。

2. 昨年より大幅にダウンしたサウジアラビア (末尾表 13-T01 参照)

MENA 諸国の中でビジネス環境が最も良いのは UAE で世界順位は22位であり昨年(23位)よりもワンランクを上げている。同国の順位は日本(29位)よりも高い。UAE は MENA の中でも特に順位が高く、これに続くのはイスラエルの40位、そしてサウジアラビアの49位である。両国は共に昨年より順位を下げているが、特にサウジアラビアは昨年の26位から大幅に下がっている。

3位以下はカタール(世界50位)、バハレーン(同53位)、トルコ(同55位)、チュニジア(同60位)、オマーン(同66位)が50位から60位台に名を連ねている。このうちトルコは昨年より14ランクアップしているが、その他の4カ国はいずれも順位を落としており、特にオマーンは19ランク下落しており、下落幅はサウジアラビアに次いで MENA で二番目に大きい。これらの国以外ではモロッコ(同71位)及びクウェイト(同86位)が100位以内で世界189カ国の上位グループに入っている。

上記以外の MENA9カ国、1組織(パレスチナ自治政府)はビジネス環境としては世界の100位以下にとどまっている。それらを順に列挙すればレバノン(世界104位)、エジプト(同112位)、ヨル

ダン(同117位)、イラン(同130位)、イエメン(同137位)、パレスチナ自治政府(同143位)、アルジェリア(同154位)、イラク(同156位)、シリア(同175位)でありリビアは世界最下位のエリトリアをわずかに上回る188位にとどまっている。ちなみに MENA の世界平均順位は98位であり昨年の99位と殆ど変化していない。UAE、サウジアラビアなど GCC を中心とする上位グループとアルジェリア、イラク、シリア、リビアなど下位グループとの格差が大きい。アルジェリア、イラク、リビアは UAE、サウジアラビアと同様産油国であるが内戦状態のシリア或いは治安が不安定なアルジェリア、イラク、リビアのビジネス環境評価は極めて厳しい。

本調査では世界1位は昨年に引き続きシンガポールとされ、韓国が5位、そして米国は7位に入っている。日本は世界29位であり MENA 各国と比較すると UAE より低く、韓国との格差は大きい。因みに中国は世界90位で調査対象189カ国中ではほぼ中間に位置し、MENA 諸国と比べるとクウェイト(86位)より低くレバノン(104位)より高い。

3. 評価項目毎のランク(末尾表 13-T02 参照)

評価の対象となっている10項目について MENA 各国のランクを概観すると以下の通りである。

(1) Starting a Business (起業)

事業をスタートさせる難易度である「Starting Business(起業)」について MENA 諸国の中で最も起業しやすいとされた国はイスラエル(世界順位53位、以下同じ)である。これに次ぐのがモロッコ(54位)、UAE(58位)、イラン(62位)の順である。エジプト、トルコ、ヨルダンは70~80位台であり、これら7カ国が100位以内である。チュニジア、サウジアラビア、カタール他の12カ国(含むパレスチナ)は100位以下であり、MENA の世界平均は109位である。

因みに韓国は17位、米国は46位であり、日本は83位でトルコ(79位)より低く、中国(128位)はオマーン(123位)とほぼ同等である。

(2) Dealing with Construction Permits(建設許可取得)

進出先の関係政府機関から工場を建設するための許認可を取り付けるための難易度を見ると、UAE(世界順位4位、以下同じ)、バハレーン(7位)及びイラク(9位)が世界のトップテンに入っている。イラクが世界のトップテンに入っていることは注目される。この3カ国に続くのがサウジアラビアの21位であるが、この他カタール(23位)が世界の上位に入っている。カタールに次ぐのはオマーン(世界49位)であるが両国の間は大きく開いている。同じ GCC 加盟国であるクウェイトはここでも世界98位と順位がかなり低い。

一方 MENA でランクが最も低いのはシリア及びリビアの189位でありこれは世界最下位でもある。MENA の大国であるトルコ(136位)、エジプト(142位)、イラン(172位)も低い。また MENA 総合1位で世界40位のイスラエルもこの項目では世界121位にとどまっている。

(日本83位、米国41位、韓国12位、中国179位)

(3) Getting Electricity (電力事情)

企業特に製造業にとって進出先で安価で安定した電力が得られるか否かは事業の成否を決定する大きな要素と言える。MENA トップは UAE(世界順位4位、以下同じ)であり、サウジアラビア(22位)、トルコ(34位)、イラク(36位)、チュニジア(38位)の各国がこれに続いている。世界40~50位台にはカタール(40位)、ヨルダン(44位)、レバノン(57位)が並んでいる。フセイン時代の古い設備を抱え電力事情が良くないとされているイラクがカタールよりも評価が高いことは興味深い。MENA 諸国はこの項目の世界順位が比較的高く平均順位は71位で世界189カ国の中では上位グループに入っている。

(日本28位、米国61位、韓国1位、中国124位)

(4) Registering Property(登記)

この分野では UAE が世界4位である。UAE に続くのはバハレーン(世界17位)、オマーン(19位)、サウジアラビア(20位)であり、GCC 諸国が MENA の上位を占めている(但しクウェイトは69位)。

これに対して登記の難易度が高いとされているのは、リビア(189位、世界最下位)、イラン(161位)、アルジェリア(157位)などである。この分野のイスラエルの順位は世界135位であり、上記(2)の建設許可取得とともに行政手続きがかなり煩雑であることをうかがわせる。後述するように同国は投資家保護及び通関分野のランクが世界のトップクラスでありことと比べて落差が大きい。

(日本73位、米国29位、韓国79位、中国37位)

(5) Getting Credit(信用取得)

イスラエルは世界順位が第36位であり信用取得に関しては MENA トップである。イスラエルに続くのはサウジアラビア(71位)であり、この項目に関してはイスラエルがずば抜けている。UAE、イラン、トルコは世界89位の同順位である。一方信用取得が困難とされているのはヨルダン、リビア及びイエメン(共に185位)、イラク(180位)、アルジェリア(171位)である。因みにこの分野の MENA の世界平均順位は122位であり10項目の中では清算項目と並んで最も低く、MENA は信用取得が困難な地域であると言える。

(日本71位、米国2位、韓国36位、中国71位)

(6) Protecting Investors(投資家保護)

MENA で投資家が最も確実に保護されているのはイスラエルで同国の世界ランクは第11位である。これに続くのがトルコ(世界ランク13位)、UAE、クウェイト(共に43位)、サウジアラビア(62位)である。これに対しランクが低いのはイラン、ヨルダン(共に154位)、イエメン(162位)、リビア(188位)などである。UAE、クウェイト、サウジアラビアと同じ GCC 加盟国のカタール及びオマーンは共に世界122位にとどまっている。

(参考:日本35位、米国25位、韓国21位、中国132位)

(7) Paying Taxes(徴税)

この項目では UAE 及びカタールが共に世界1位、サウジアラビアが3位であり世界のベスト3を独占している。さらにバハレーン(8位)、オマーン(10位)、クウェイト(11位)など GCC6カ国が世界の

位に名を連ねている。GCC 各国では個人所得税が免除されているほか法人税も非常に低い。この点がビジネス環境として高く評価されているようである。なおこの項目の MENA の世界平均順位は 69 位であり 10 項目の中では最も順位が高い。但し一方ではイラン(124位)、エジプト(149位)、アルジェリア(176位)など税負担のレベルが高い国がある。MENA は一部の産油国とその他の国で徴税レベルの格差が大きい。因みにこの項目の日本の世界順位は 122 位であり課税水準が高いことを示している。

(参考: 日本122位、米国42位、韓国25位、中国120位)

(8) Trading Across Borders(通関)

事業用の資本財を輸入し、或いは完成した製品を輸出するためには税関手続きが簡単であることが望ましい。この分野では UAE が世界第8位であり評価が高い。ドバイのジュベール・アリ自由貿易ゾーンはソフト、ハードの両面で周辺国の追随を許さない3国間貿易の拠点であり、このことが高い評価につながっている。これに次ぐのがイスラエル(世界12位、以下同じ)で輸立国を運命付けられた同国の政策に負うところが大きいのであろう。以下クウェイト(17位)、モロッコ(31位)、チュニジア(50位)と続いている。トルコ(90位)、サウジアラビア(92位)はほぼ世界の平均レベルである。一方評価が低いのはイラク(178位)である。

(参考: 日本20位、米国16位、韓国3位、中国98位)

(9) Enforcing Contracts(契約強制力)

この項目のトップはトルコ(世界38位、以下同じ)で、これに次ぐのがイラン(66位)である。これに対しサウジアラビア、UAE はそれぞれ世界108位、121位と低く一見意外な評価と言える。この分野の MENA 各国の評価は総合順位とかなり異なっている。GCC 各国は上記サウジアラビア、UAE の他、カタール(104位)、バハレーン(123位)、オマーン(130位)、クウェイト(131位)など全て100位以下である。GCC 諸国は契約強制力の分野では世界レベルからかなり遅れているようである。

(参考: 日本26位、米国41位、韓国4位、中国35位)

(10) Resolving Insolvency(清算)

事業の撤退を決断した場合、清算手続きをスムーズに行う必要があり、起業(項目1参照)と同様外国投資家にとっては重要な要素である。この面ではイスラエルが世界24位で MENA 地域では最も高い評価を得ている。これに続くのがカタール(世界47位、以下同じ)、チュニジア(同54位)。

これに対しイラク、リビア及びパレスチナ自治政府は世界最下位(189位)である。またイラン(138位)、エジプト(126位)なども世界ランクが低く、GCC のサウジアラビア及び UAE もそれぞれ163位、92位であり評価はかなり厳しい。

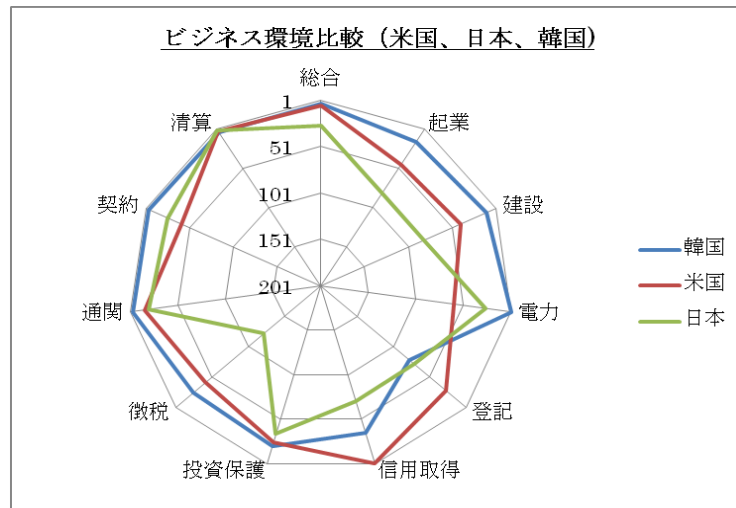
(参考: 日本2位、米国4位、韓国5位、中国53位)

4. MENA7カ国及び日米韓の項目別比較(レーダーチャート)

以下の図はエジプト、トルコ、イラン及び GCC3カ国(サウジアラビア、UAE、カタール)の MENA6カ国と日本、米国及び韓国の9カ国を上位グループ、中位グループ及び下位グループの三つに分け、

各国の項目別世界順位をレーダーチャートとして表示したものである。レーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は201位である。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の項目別順位の状態を示している。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が真円に近いほど各分野の世界順位が平均していることを示している。

(1)上位グループ:米国、日本、韓国)



韓国はほぼ全ての分野で世界のトップグループである。同国の総合順位は世界5位であり、電力事情が世界1位であるほか通関(3位)、契約強制力(4位)及び清算(5位)も世界10位以内である。また建設許可(12位)、起業(17位)、投資家保護(21位)、徴税(25位)等が世界のトップグループであり、登記の項目のみが世界79位である。

米国は総合順位が7位で韓国をわずかに下回っている。米国が韓国よりも劣っているのは起業(世界46位)、建設許可(同41位)、電力事情(同61位)、契約強制力(同41位)など7つの項目である。一方米国が韓国を上回っているビジネス環境は登記(同29位)、信用取得(同2位)及び清算(同4位)の3項目である。

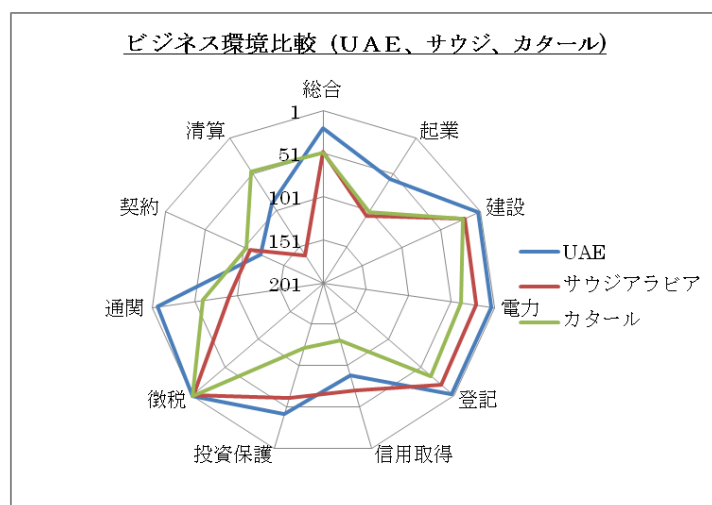
これに対して日本は総合順位は世界29位でベストテンに入る韓国、米国とかなりの格差があり、10項目についても世界順位は殆ど両国を下回っている。特に起業(世界83位)、建設許可(83位)、信用取得(71位)などは米国、韓国いずれの国よりも低く、特に徴税分野では世界122位であり、韓国(25位)、米国(42位)よりも大きく引き離されている。日本が両国のいずれかよりも順位が高い項目は電力事情、登記が米国よりも高く、また登記項目が韓国より高く、清算については日本は世界2位で米国(4位)及び韓国(5位)の両国を上回っている。

韓国及び米国のレーダーチャートが外側に広がった比較的真円に近い(つまりビジネス環境が平均して良好である)のに対して、日本の場合は徴税など世界の低位グループに評価されている項目が散見され、レーダーチャートの円はいびつな形となっている。

(2)GCC 産油国グループ:UAE、サウジ、カタール

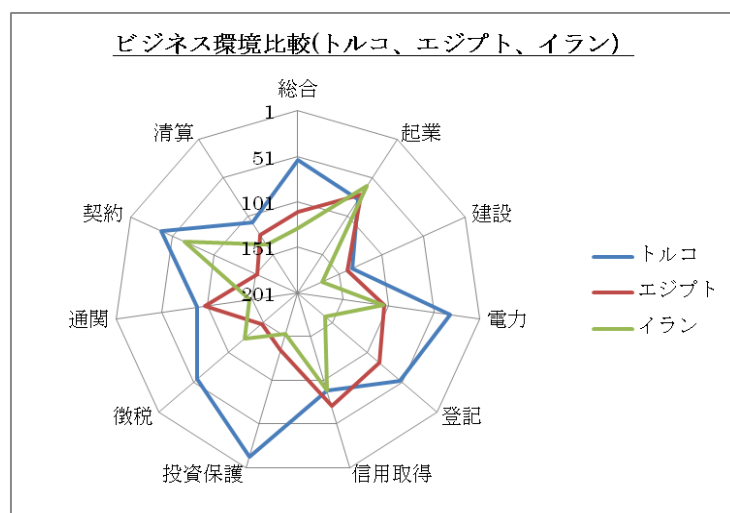
UAE、サウジアラビア、カタールの産油(ガス)3カ国を比較すると総合順位では UAE22位、サウジ49位、カタール50位であり、UAE が他の2カ国を大きく上回っている。項目別に見ると起業分野の世界順位は UAE58位、サウジ109位、カタール103位であり、サウジとカタールの評価が低い。建設許可、電力事情、登記及び徴税の分野は3カ国とも比較的世界順位が高く、特に徴税分野では UAE 及びカタールが世界1位、サウジは世界3位といずれもトップクラスである。UAE の場合はさら

に建設許可、電力事情、登記及び通関の4分野で世界10位以内に入っている。



反対にこれら3カ国は信用取得(サウジ71位、UAE89位、カタール131位) あるいは契約強制力(サウジ108位、UAE121位、カタール104位)がいずれも世界平均を下回っている。3カ国の比較で見るとカタールは信用取得及び投資家保護の分野で UAE あるいはサウジアラビアよりもかなり低く、一方サウジアラビアは清算分野が他の2カ国に比べて大きく劣っていることがわかる。

(3) 下位グループ:トルコ、エジプト、イラン



中東の三大国トルコ、エジプト及びイランのビジネス環境の総合順位はそれぞれトルコ55位、エジプト112位、イラン130位でありいずれも評価は高くなく、特にイランは最下位グループである。分野別の世界順位を見るとトルコが比較的順位が平均化しているが、エジプト及びイランは分野ごとの格差が大きい。

また3カ国の順位格差を見ると起業(トルコ79位、エジプト73位、イラン62位)、信用取得(同89位、71位、89位)、清算(同109位、126位、138位)の各分野は3カ国の格差が比較的小さいが、その他の分野では3カ国の格差が大きい。たとえば登記分野ではトルコ54位、エジプト84位、イラン161位と3カ国のビジネス環境には大きな違いがあり、契約強制力についてもトルコ38位、エジプト152位、イラン66位でその格差が大きい。投資家保護の分野ではトルコが世界13位でトップレベルにあるのに対してエジプトとイランはそれぞれ135位、154位でありトルコが抜きんでている。電力についても同様にトルコの34位に対してエジプト106位、イラン107位である。

5. 2011~2015年の順位の推移(末尾表 13-T03 参照)

2011年から2015年までの5カ年について MENA 各国の順位の変遷を見ると、2011年から2013年までの3年間はサウジアラビアが1位であったが、前回及び今回と UAE がトップに立った。UAE は2011年の4位から2012年には2位に浮上、2014年には1位となり、今回もトップである。両国の過去5年間の世界順位はサウジアラビアが10位→12位→22位→26位→49位、UAE は3

5位→33位→26位→23位→22位である。サウジアラビアが過去5年間連続して世界順位を下げ、特に今年は昨年より大幅に落ちているのに対して逆に UAE は毎年順位を上げて20位以内が視野に入ってきた。両国は明暗を分けた格好である。

両国に続くのがイスラエルで5年間を通じて常に2位又は3位を維持している。5年前に MENA3位であったバハレーンは2013年には MENA5位に転落、その後4位と5位を往復している。この間のバハレーンの世界順位は33位(11年)→38位(12年)→42位(13年)→46位(14年)→53位(15年)と5年間連続して落ちている。

MENA の平均世界順位は85位(11年)→85位(12年)→90位(13年)→99位(14年)→98位(15年)であり過去3年間後退を続け100位台すれすれである。このように MENA 上位国の世界順位と MENA の平均順位は共に下落しており、MENA のビジネス環境が近年世界的な競争力を失っていることを示している。2011年に始まった「アラブの春」による政治的経済的な動揺がその最大の要因であろう。

上記以外の GCC 諸国の MENA 域内の順位はカタールが4位～6位を、またオマーンは5位～8位を維持し、クウェイトは MENA8位から10位に下落している。これを世界順位で見るとオマーンは53位(11年)→49位(12年)→47位(13年)→47位(14年)→66位(15年)といったん上がった順位が昨年再び下がり、過去5年間で最も悪くなっている。カタールは38位(11年)→36位(12年)→40位(13年)→48位(14年)→50位(15年)と2012年以降は長期低落傾向にある。クウェイトの場合は71位(11年)→67位(12年)→82位(13年)→104位(14年)→86位(15年)と世界の中位で低迷したままである。クウェイトは有力な産油国であり豊富な石油収入によりマクロ経済には全く問題がないにも関わらず同じ GCC 加盟国であるサウジアラビア、UAE、カタールなどと比較して評価が著しく低い。国会の解散と内閣改造を頻繁に繰り返した結果、国内インフラの整備が遅れるなど外国企業にとって魅力的なビジネス環境ではなくなっていると言えよう。

因みに「アラブの春」で大きな変革を迫られた国々の過去5年間の世界順位の推移を見ると以下のとおりである。

チュニジア:	40位→	46位→	50位→	51位	→	60位
イエメン:	94位→	99位→	118位→	133位	→	137位
ヨルダン:	95位→	96位→	106位→	119位	→	117位
エジプト:	108位→	110位→	109位→	128位	→	112位
シリア:	136位→	134位→	144位→	165位	→	175位

上記のうちチュニジア及びイエメンは2011年以降は毎年下落しており「アラブの春」がビジネス環境に与えた影響の大きさがわかる。エジプトは「アラブの春」からムルシ政権誕生までは停滞していたが、ムルシ政権末期にはビジネス環境が悪化し、シーシ軍事独裁政権に代わってむしろ環境が

良くなったと評価されている。内政が混乱し治安の悪化が止まらないシリアは2012年以降順位が急速に下がり、今や世界最下位クラスに落ち込んでいる。なおリビアは2011年から2013年までは世界ランクの対象外とされてきた。昨年、今回と漸くランク付けされるようになったが187位(‘14年)、188位(‘15年)と世界189カ国中の最下位目前の状況である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

ビジネス環境 MENA ランク

Country	国名	総合順位		
		2015年	2014年	2014/2015年 比較
United Arab Emirates	UAE	22	23	1
Israel	イスラエル	40	35	-5
Saudi Arabia	サウジアラビア	49	26	-23
Qatar	カタール	50	48	-2
Bahrain	バハレーン	53	46	-7
Turkey	トルコ	55	69	14
Tunisia	チュニジア	60	51	-9
Oman	オマーン	66	47	-19
Morocco	モロッコ	71	87	16
Kuwait	クウェイト	86	104	18
Lebanon	レバノン	104	111	7
Egypt, Arab Rep.	エジプト	112	128	16
Jordan	ヨルダン	117	119	2
Iran, Islamic Rep.	イラン	130	152	22
Yemen, Rep.	イエメン	137	133	-4
Palestine Autonomy	パレスチナ自治区	143	138	-5
Algeria	アルジェリア	154	153	-1
Iraq	イラク	156	151	-5
Syrian Arab Republic	シリア	175	165	-10
Libya	リビア	188	187	-1
	(MENA 平均順位)	98	99	
(世界1位)	シンガポール	1	1	
Japan	日本	29	27	-2
USA	米国	7	4	-3
Korea	韓国	5	7	2
China	中国	90	96	6

Source:<http://www.doingbusiness.org/>

2015年ビジネス環境項目別ランク(1/2)

国名	総合順位	起業	建設許可	電力事情	登記	信用取得
UAE	22	58	4	4	4	89
イスラエル	40	53	121	109	135	36
サウジアラビア	49	109	21	22	20	71
カタール	50	103	23	40	36	131
バハレーン	53	131	7	73	17	104
トルコ	55	79	136	34	54	89
チュニジア	60	100	85	38	71	116
オマーン	66	123	49	79	19	116
モロッコ	71	54	54	91	115	104
クウェイト	86	150	98	93	69	116
レバノン	104	119	164	57	106	116
エジプト	112	73	142	106	84	71
ヨルダン	117	86	126	44	107	185
イラン	130	62	172	107	161	89
イエメン	137	140	68	122	44	185
パレスチナ自治区	143	162	173	83	99	116
アルジェリア	154	141	127	147	157	171
イラク	156	142	9	36	109	180
シリア	175	152	189	76	140	165
リビア	188	144	189	65	189	185
(MENA 平均順位)	98	109	98	71	87	122
シンガポール	1	6	2	11	24	17
日本	29	83	83	28	73	71
米国	7	46	41	61	29	2
韓国	5	17	12	1	79	36
中国	90	128	179	124	37	71

Source:<http://www.doingbusiness.org/>

2015年ビジネス環境項目別ランク(2/2)

国名	投資家保護	徴税	通関	契約強制力	清算
UAE	43	1	8	121	92
イスラエル	11	97	12	111	24
サウジアラビア	62	3	92	108	163
カタール	122	1	61	104	47
バハレーン	104	8	64	123	87
トルコ	13	56	90	38	109
チュニジア	78	82	50	78	54
オマーン	122	10	60	130	112
モロッコ	122	66	31	81	113
クウェイト	43	11	17	131	127
レバノン	106	40	97	110	136
エジプト	135	149	99	152	126
ヨルダン	154	45	54	114	145
イラン	154	124	148	66	138
イエメン	162	135	134	85	154
パレスチナ自治区	141	51	130	105	189
アルジェリア	132	176	131	120	97
イラク	146	52	178	141	189
シリア	78	117	146	175	146
リビア	188	157	139	126	189
(MENA 平均順位)	106	69	87	111	122
シンガポール	3	5	1	1	19
日本	35	122	20	26	2
米国	25	42	16	41	4
韓国	21	25	3	4	5
中国	132	120	98	35	53

Source:<http://www.doingbusiness.org/>

ビジネス環境世界順位の推移(2011年～2015年)

Country	国名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
Algeria	アルジェリア	143	148	152	153	154
Bahrain	バハレーン	33	38	42	46	53
Egypt	エジプト	108	110	109	128	112
Iran	イラン	140	144	145	152	130
Iraq	イラク	159	164	165	151	156
Israel	イスラエル	32	34	38	35	40
Jordan	ヨルダン	95	96	106	119	117
Kuwait	クウェイト	71	67	82	104	86
Lebanon	レバノン	103	104	115	111	104
Libya	リビア	-	-	-	187	188
Morocco	モロッコ	115	94	97	87	71
Oman	オマーン	53	49	47	47	66
Palestine Autonomy	パレスチナ自治区	128	131	135	138	143
Qatar	カタール	38	36	40	48	50
Saudi Arabia	サウジアラビア	10	12	22	26	49
Syria	シリア	136	134	144	165	175
Tunisia	チュニジア	40	46	50	51	60
Turkey	トルコ	73	71	71	69	55
UAE	UAE	35	33	26	23	22
Yemen	イエメン	94	99	118	133	137
	(MENA 平均順位)	85	85	90	99	98
	(対象国数)	183	183	183	189	189
世界1位		シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール
最下位		チャド	チャド	チャド	チャド	エリトリア
Japan	日本	20	20	20	27	29
USA	米国	4	4	4	4	7
China	中国	87	91	91	96	90

Source:<http://www.doingbusiness.org/>